

2 富士山の世界文化遺産登録を目指して

静岡県からのお知らせ

ユネスコ世界遺産委員会において、「富士山」の暫定リスト掲載が報告されました。(平成19年6月27日)

平成19年6月23日から7月2日までニュージーランドのクライストチャーチで開催された「第31回ユネスコ世界遺産委員会」において、「富士山」を掲載した日本の暫定リストの報告が行われました。

「富士山」は、世界文化遺産登録に向け、大きな一歩を踏み出しました。

また、県では世界遺産委員会に2名の職員を派遣し、会場において富士山のDVDや絵はがき等を出席者に配布するなどして「富士山」のPRを行いました。



【第31回世界遺産委員会の審議の様子】



【PR用DVD、絵はがきなど】



【富士山PRの1コマ】

今回の委員会では、36件の資産が審議され、日本の「石見銀山遺跡」を含む22件が新たに世界遺産に登録されました。また、世界遺産からの抹消（「アラビア・オリックスの保護区」（自然遺産:オマーン））という史上初の出来事がありました。

これにより世界遺産の数は、下表のとおりとなりました。

文化遺産	660件（11件）
自然遺産	166件（3件）
複合遺産	25件（なし）
総数	851件（14件）

注）カッコ内は日本の世界遺産の数

